

宇都宮から車で30分の「桜の郷」へ、ようこそ!

るるる

特別編集

栃木県

# さくら市

大正浪漫ノ道ノ駅

## わくわく湯の郷 桜も満喫! まちめぐり

新名物  
「氏家うどん」を  
食べ比べ!

おみやげ情報

名産・特産品を  
素材にした逸品も

道の駅 ぎつれがわ

特産品と温泉。さくら市の魅力満載

私たち「さくらメイツ」が  
名湯・喜連川温泉を  
ご紹介します!

### 日本三大美肌の湯 喜連川温泉の湯めぐり

- ◎ 日帰り湯 / 足湯
- ◎ 立ち寄り入浴できる温泉宿
- ◎ 温泉付きゴルフ場

1泊2日もデルコース  
さくら市満喫おすすめ

温泉も! 歴史も! グルメも! ショッピングも!





みどころ  
・魅力  
ダイジェスト

こんなところ！

鬼怒川に隣接する氏家地区と、歴史ある城下町が広がる喜連川地区。特徴ある2つの町が合併し2005年に誕生したさくら市には、温泉や自然が豊かな里山など、魅力がいっぱい！

# さくら市

## さくら市の概要

- 面積：125.63km<sup>2</sup>
- 気候：日照時間が長く、降雪が少ない
- 市の木・花：桜
- 市の鳥：セキレイ



暖かな陽気に誘われて春を彩る満開の花めぐりへ

## 魅力1 花名所がいっぱい！

鬼怒川河川敷に広がる桜の名所・氏家ゆうゆうパーク



300万本のポピーが咲き誇る景色は圧巻

勝山公園・勝山城跡 →P6 をはじめ、氏家ゆうゆうパーク →P14 など、市の名前の由来にもなった桜の名所が数多くある。5月中旬からは、色鮮やかなポピーが荒川河川敷に咲き誇り、5月下旬にはポピーまつり →P14 も開催される。

## 魅力2 美肌の湯・喜連川温泉が湧く

道の駅 きたつがわの本館  
道の駅 きたつがわの内湯はジャクジー付き



足湯から露天風呂まで手軽に楽しめる施設が充実

無料の足湯やリーズナブルに利用できる市営温泉施設や露天風呂、貸切風呂など、趣向の異なる施設で温泉が満喫できるのもさくら市の魅力。美肌効果が高いといわれる温泉で、心も体も癒やされよう。 →温泉特集はP10・11

## さくら市の歴史

小さな大名とよばれた足利氏ゆかりの城下町がある

さくら市には西原古墳や国指定の東山道、中世の勝山城や大蔵ヶ崎城など、多くの史跡が見られる。そのなかでも江戸時代の喜連川地区は、足利尊氏の末裔である喜連川足利氏が治めており、5千石の領地ながら10万石の大名と同等、時にはそれ以上の待遇を受け、城下町として発展した。現在も数々の名残を見ることができ、



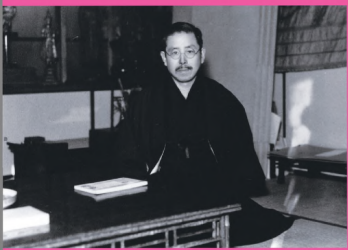
さくら市指定文化財の足利尊氏公木像(→P7。龍光寺蔵)

## ゆかりの人物

荒井寛方(1878・1945)

「仏画の寛方」ともよばれたさくら市を代表する日本画家

明治11年(1878)に現在の氏家地区で生まれる。日本画家・水野年方に師事して歴史画を学んだ後、日本美術院で活躍。多くの仏画を描いた。のちに詩聖・タゴールに招かれ美術教師としてインドへ渡り、世界遺産アジャンター石窟群の壁画模写も行う。晩年は法隆寺の壁画模写を行った。



さくら市ミュージアム「荒井寛方記念館」(→P6)で作品を見ることができ



# 魅力4 自然を満喫する体験スポットも

春にはお花見、初夏からは鮎釣り→P14、秋からはリンゴ狩り→P16など、季節ごとに自然を実感できる環境が広がる。植林の杉やヒノキを使った木工体験→P7は、里山の自然材保護にもつながるエコ活動だ。

鮎解禁の時期には多くの釣り人が訪れる



リンゴを楽しい思い出と一緒に持ち帰ろう



やわらかい木材なので、簡単に加工ができる

緑豊かな丘陵地に広がる里山で自然にふれて思い出づくぐぐを



温泉とグルメを楽しむ！

## 道の駅 きたつれがわ テーマは大正ロマン



国道293号沿いに立地し、さくら市観光の拠点にも最適

温泉施設や無料の足湯を併設する「道の駅 きたつれがわ→P4」。「大正ロマン、大正モダン」をテーマにしたクラシカルな意匠も好評。さくら市の有名店が勢揃いしたレストラン&食事処は旅行者に人気で、農産品・特産品直売所などもあり、さくら市の食の魅力も満載。

# 魅力3 おいしい野菜が手に入る

旬の野菜はもちろん、温泉の地熱を利用して作る喜連川温泉なす、イチゴやリンゴなどのフルーツも人気が高い。生産者自らが加工するジュースやジャム、味噌、漬け物、総菜は、みやげとしてもおすすめ。市内直売所をチェックしよう。

生産者の顔が見える野菜や加工品は 自家用にもみやげにも最適！



## 小麦の生産が盛んな氏家地区から さくら市を盛り上げる新名物が誕生



「氏家うどん」は、氏家地区で生産された地場産の小麦の全粒粉を使ったご当地うどん。2016年1月8日に商工会の出願としては全国で初めて地域団体商標登録された。生麺はJAしおのや農産物直売所さくら→P7や、道の駅きたつれがわ→P4、菜っ葉館→P17などで販売されている。

小麦本来がもつ色と香りが楽しめる素朴なうどん

氏家うどん

このばりを旨に提供店舗を探してみよう

## さくら市のマスコットキャラクター コンタ君

旧喜連川町で生まれたキャラクター。「コンタ」という名は、喜連川の地名にあやかって命名された。さくら市は足利氏に因る土地柄から、足利家の家紋をつけた武士の恰好をしている。背中に背負った魚は鮎で、さくら市の生産量は東日本一を誇り、コンタ君の大好物でもある。



野口雨情 (1882-1945) 「七つの子」や「雨降りお月さん」など数多くの童謡を残した日本三大童謡詩人として知られる野口雨情は、先妻の高塩ヒロが現在の喜連川地区出身であったことから、たびたびこの地を訪れ、作品を残している。璣光院の美しい風景と梅の香りから生まれた「梅のお寺」もその一つ。さくら市ミュージアム 荒井寛方記念館(→P6)に雨情の紹介コーナーがある。